|  |
| --- |
| **調査計画書　　　 　2018年　　　2月　　　22日　提出** |
| **学生番号** | 1A116070 |  | 加治　美佑 |
| **調査テーマ** | タイにおける日本語教育の媒体の変遷と言語と文化の繋がり |
| **目的** | 長年日本語教育が行われているタイにおいて、日本語教育の媒体として現在と過去とを比較して、何が使われてきたのか、そして使われているのかを調査することで言語教育と文化の密接な関係性を再検討するとともに、両者の役割について考える。 |
| **テーマに着眼した背景**※記入は任意 | タイにおける日本語教育の文献を読んでいた際に、タイにおいて日本語教育は戦後すぐに始まったことを知った。しかし今日においては日本のポップカルチャーが教育媒体や学習契機としてよく耳にする。ではこのポップカルチャーがなかった時代には何が学習媒体として使用されていたか、またポップカルチャーがメイン媒体として現在本当に使われているのか。本何が日本語学習者の関心を引いたのか気になったから。さらにこのテーマを調査することにより、言語教育と文化が具体的にどのような関係性を持つのか知りたかったから。 |
| **内容・対象・方法** | 対象：タイにある日本語学校及びカセサート大学内の日本語学科の学生　　　また可能であれば、変遷を辿るため、学生だけでなく、タイ人教師も対象とする。調査内容・方法：「日本語を学習する動機となったもの」「日本語学習時に使用している媒体は何か」「日本語を学んできた中で関心のある日本文化はなにか」をアンケートまたはインタビュー調査を行う。 |
| **調査計画書を書くにあたり、これまでに****行った情報収集** | インターネット上の文献からの情報収集 |

この書式は、**http://www.gsc.aoyama.ac.jp/portal4fs/**　からダウンロードできます。

**PDF形式でFacebookのメッセージに添付**し、フィールドスタディー担当教員に提出してください。